

令和 6 年度 東京都私立幼稚園教育推進向上支援事業補助
自己評価・学校関係者評価結果報告書

学校法人愛輪学園 鹿浜愛育幼稚園

1. 教育方針・目標

【教育方針】

どんな環境にも適応できる強い意志と創造力を持った人間の基礎は、幼児期に育めます。本園は、幼児の生活を尊重しつつ、幼児が真に生き生きと意欲的に活動できる環境を整え、健全な心身の発達を助長する教育に努めてまいります。また、すべての命ある物に対して思いやりの心を持つ（生命尊重）ことで、感謝や反省の心を育てます。そして、園の内外を問わずに家族や時には地域の人と共に参加する行事を通して正しい生活をおくり、人格の形成をはかります。また、生きる力をつけるために、体育活動を通して心と体を鍛え、音楽指導により、音楽を通して情操豊かな感受性を育て、協調性と一人ひとりのがんばる力を養います。

【教育目標】

- 喜んで集団生活に参加し、自主性を育てる
- 優しい思いやりのある心を育てる
- 健康で安全な基本的生活習慣を養う

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 喜んで園生活を送り、友達や先生との関わりの中で様々なことに興味や関心を持つ。
- 身近な動植物に親しみをもち大切にす。また、収穫の喜びを友達や家族の方と分かち合う。
- 身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄、手洗い、うがいなど生活に必要なことができるようになる。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	自己評価	取り組み状況
1.	人間関係	A	各クラス目標を定めることにより、意欲的に園生活を送ることができた。
2.	自然	A	ジャガイモの種芋植え、収穫。さつまいもの苗植え収穫の経験を通して自然の恵み、食物への感謝の心を育んだ。
3.	保育内容の向上	A	英語ネイティブ講師による歌やゲームを通して英語に親しみ、異文化への理解を深め、協調性や思いやりの心を育むことができた。

4. 学校関係者評価の具体的な目標の総合的な評価結果

学校関係者評価を行うことで、教職員の創意工夫が多く見受けられるようになる。そのことにより、子ども達の健全な心身の発達に良い影響がみられる。自ら考え行動し、友達との関わりもより活発になり、園での生活や行事などに積極的に参加できるようになる。今後も学校関係者評価の充実を図りたいと考えている。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1.	園生活の充実	自由保育や園外保育（アウトイングキャンプ）を積極的に取り入れ、子どもたちが自ら選択して遊びこめるよう提案、環境設定、準備等工夫に努める。また友だちとの関わりもより深まるような言葉かけや気づきを大切にしていく。
2.	園行事のあり方	昨今の気候変動や共働きの家庭が多い中での園行事のあり方を捉え、子ども達にとってよりよい取り組み方や準備、進行をし、保護者も職員も楽しみ参加できる園行事となるように考えていく。引き続き保護者の利便性を踏まえ、行事の分散も考慮する。
3.	職員の資質向上	職員それぞれが必要とする教員研修を全員が受け、自らのスキルアップや保育の改善・資質の向上に努める。また週に一度、職員全体会議を行い、子どもの様子やカリキュラムの立て方を話し合い、園全体で保育の見直しを行う。

6. 学校関係者の評価

それぞれの行事が子ども達が心からが楽しめるように工夫され、家族も一緒に参加することができました。また行事の分散や普段の保育等も気候の変化に合わせてたり、保護者の目線も取り入れられ工夫されていると思いました。日々配信されるホームページやインスタグラムなどでの子ども達の細かで豊かな表情から、子ども達の充実した園生活を感じることができました。今後も引き続き情報の公開を積極的に行っていただくことにより、園・保護者・地域が一体となって子ども達の成長を見守っていききたいと思います。

学校関係者評価委員 山上 恵美子

学校関係者評価委員 白羽 愛

学校関係者評価委員 石鍋 一男